

2017 **11.1**
平成29年

議会から こんにちは



8月8日にこども議会が開催され、市内の中学3年生11人が佐野市に対する一般質問を行いました。

佐野市の現状や将来のことを考えた質問は、とても質の高い内容でした。
(詳細は14・15ページ)

平成29年9月定例会

- 平成28年度決算を認定
- 決算審査特別委員会では延べ20人が質疑
- 一般質問に18人が登壇

さの
市議会だより

www.city.sano.lg.jp/gikai/

佐野市議会

検索



佐野市議会のライブ中継と録画配信をしています。→

佐野市議会スマート中継

検索



平成28年度

一般会計、各特別会計、
水道事業会計、病院事業会計決算を認定

決算審査特別委員会（パソコン・タブレット・スマートフォンで映像をご覧になれます!）

副委員長
菅原 達委員長
篠原 一世

9月定例会には、平成28年度一般会計、各特別会計、水道事業会計及び病院事業会計決算の認定についての各議案が提出されました。

議会では、議員全員で構成する決算審査特別委員会を設置し、9月14日、15日、19日、20日の4日間にわたり審査を行いました。

委員会では一般会計13名、各特別会計等7名の委員により質疑が行われました。審査の結果、決算審査要望書を市当局に提出しました。（議決の結果はP4のとおり）

平成28年度 決 算 の 概 要

●一般会計及び特別会計

(1万円未満四捨五入)

会 計 名		予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引残額
一 般 会 計		502億8,413万円	481億4,951万円	454億1,779万円	27億3,172万円
特別会計	国民健康保険事業(事業勘定)	160億 943万円	159億7,265万円	150億8,189万円	8億9,076万円
	国民健康保険事業(直営診療施設勘定)	2億9,409万円	2億6,586万円	2億6,486万円	100万円
	公 共 下 水 道 事 業	37億4,799万円	36億3,245万円	35億4,337万円	8,908万円
	農 業 集 落 排 水 事 業	1億8,239万円	1億7,525万円	1億7,196万円	329万円
	自 家 用 有 償 バ ス 事 業	1億5,774万円	1億5,222万円	1億5,192万円	30万円
	介護保険事業(保険事業勘定)	111億1,111万円	106億5,990万円	102億4,511万円	4億1,479万円
	介護保険事業(介護サービス事業勘定)	5,200万円	5,149万円	5,149万円	0万円
	後 期 高 齢 者 医 療	12億8,466万円	12億2,911万円	12億2,856万円	55万円
	佐野田沼インター産業団地造成事業	7億3,740万円	7億3,702万円	7億3,702万円	0万円
	西浦黒袴第二工区産業団地造成事業	3億 405万円	3億 226万円	2億8,466万円	1,760万円
	小 計	338億8,086万円	331億7,821万円	317億6,084万円	14億1,737万円
合 計		841億6,499万円	813億2,772万円	771億7,863万円	41億4,909万円

(注)各会計ごとに1万円未満を端数処理しているため、歳入歳出差引残額、小計及び合計欄については実際の数値と異なることがあります。

●公営企業会計

(1万円未満四捨五入)

区 分		予算額	決算額
水道事業会計	収 益 的 収 入	23億8,438万円	24億1,229万円
	収 益 的 支 出	21億4,677万円	20億1,413万円
	資 本 的 収 入	6億8,409万円	5億7,021万円
	資 本 的 支 出	18億3,346万円	15億1,363万円
病院事業会計	収 益 的 収 入	9億9,454万円	9億9,270万円
	収 益 的 支 出	9億9,454万円	9億9,345万円
	資 本 的 収 入	1億4,393万円	1億4,393万円
	資 本 的 支 出	2億4,346万円	2億4,065万円



平成28年度決算審査要望書

1 (行政改革の推進)

行政改革は不断の取組である。本市も平成18年3月から3次にわたり行政改革大綱を策定し改革を断行してきた結果、平成28年度も相当の効果を上げた。

しかし、超高齢社会に起因する社会保障費増や人口減少に伴う税収減など、今後は、更に自主財源の減少が懸念されるため、改革の手を緩めることはできない。

そこで、行政評価を行うに当たっては、事務事業の効果を検証し、選択と集中を徹底されたい。

2 (市有施設の適正配置)

昭和40年代に建設された市有施設の老朽化が急速に進んでいる。今後その維持管理費用や更新費用などの財源をどのように確保していくかという課題は、行財政運営にとって極めて大きな問題となり、持続可能な行政サービスを提供していく上で鍵を握ると思われる。

そこで、市有施設の適正配置を行うに当たっては、市民が市有施設に望む役割や機能、利用状況等を十分に精査し、より効率的・効果的な維持・管理・運営方法及び施設の再配置を大胆かつ柔軟に実施されたい。

3 (出流原PA周辺総合物流開発整備の推進)

これまで出流原PAスマートインターチェンジ推進事業を着実に進めた結果、平成29年8月4日付けで(仮称)出流原PAスマートインターチェンジの北関東自動車道への連結が許可された。このことは、出流原PA周辺総合物流開発整備に向け大きな弾みとなった。出流原PA周辺総合物流開発整備は、産業の振興及び地域経済の活性化につながることはもとより、観光振興の側面からも大いに期待されるため、その事業化に向け邁進されたい。

4 (防災・減災対策)

国土交通省関東地方整備局は、平成27年9月の関東・東北豪雨を受けて利根川水系の洪水想定を見直した。旗川では浸水域が従来想定1.6倍に広がり、浸水は大古屋町で8.2mに達し、秋山川では浸水域が1.9倍、浸水は越名町で10.4mに引き上げられた。

本市でも、関東・東北豪雨の際は、三杉川左岸堤防が決壊し大きな被害を受けたことは記憶に新しいところであり、本年7月の九州北部豪雨でも甚大な被害が発生した。

こうした近年の豪雨多発に備え、日頃から地域での防災訓練を実施するとともに、本市のタイムラインに基づいた避難勧告等発令体制に万全を期されたい。

5 (人口減少及び子育て支援対策)

総務省が7月5日に発表した人口動態調査によると、日本の人口は1億2,558万3,658人で、前年から30万8,084人減り、65歳以上の老年人口の割合は27.17%に達した。

人口減少に歯止めをかけるには、合計特殊出生率の向上が必要であり、そのためには、待機及び保留児童対策など女性が働きながら子どもを産み、育児ができる環境を整備することが最も重要である。

そこで、次世代に持続可能な社会を引き継ぐため、子育て世代の定住や就労を促す取組を積極的に推進されたい。

6 (小中学校適正配置の推進)

田沼西地区小中一貫校の平成32年度開校に向け、その取組を田沼西地区の住民や保護者などに対し説明会を開催したり、開校だよりを発行するなど、丁寧に進めていることがうかがえる。一方、施設整備に係る実施設計が平成29年度に繰り越されたこともあり、開校に向けては、ハード・ソフトの両面において遺漏のないよう進められたい。

また、葛生地区及び赤見地区においても、子どもたちにとって望ましい教育環境の実現を目指し、適正配置計画のとおり実施されるよう努められたい。

7 (国保医療費の適正化及び財政の健全化)

国民健康保険を安定的に運営するためには、医療費の適正化は必要不可欠である。疾病予防・早期発見・早期治療を目的に特定健康診査及び特定保健指導を行っているが、その受診率及び支援実施率は低調であり、向上の兆しがうかがえない状況にある。また、平成30年度から栃木県が国民健康保険の財政運営の責任主体となることから、各市は県が県内の医療費を推計して算出する国保事業費納付金を納付することとなる。

これらのことから、特定健康診査受診率及び特定保健指導支援実施率の向上、ジェネリック医薬品の普及促進等を図り、医療費の適正化を推進するとともに、収納率向上対策などを着実に実施し、財政の健全化を目指されたい。

8 (公共交通の再構築)

平成28年度から、公共交通空白地域の解消を含め、公共交通ネットワークの再構築を図るため、地域公共交通網形成計画の策定に向けた取組が始まったところである。再構築に当たっては、民間バス路線も含め、多くの市民が利用しやすい公共交通となるよう努められたい。

特に、市営バスの新規運行や支線の運行に当たっては、それぞれの地域に即した運行形態とされたい。加えて、市営バスの利用者数及び使用料は増加しているものの、収支状況は依然として厳しい状況にあるため、利便性の向上はもとより、収支率の改善の観点にも十分留意されたい。

9 (介護保険事業の充実)

介護保険制度は、創設以来17年を経過し、65歳以上の被保険者数が約1.5倍に増加するなかで、サービス利用者数は約3倍に増加し、高齢者の介護に無くてはならないものとして定着している。

超高齢社会が急速に進む中、高齢者の自立支援と要介護状態の重度化を防ぎ、地域共生社会の実現を図れるよう配慮し、介護サービスを必要とする市民が必要なサービスを受けられるよう努められたい。

決算審査特別委員会に付託された議案と結果

議案番号	件 名	議決結果
議案第101号	平成28年度佐野市一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定 賛成多数
議案第102号	平成28年度佐野市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)歳入歳出決算の認定について	認 定 賛成多数
議案第103号	平成28年度佐野市国民健康保険事業特別会計(直営診療施設勘定)歳入歳出決算の認定について	認 定 賛成全員
議案第104号	平成28年度佐野市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定 賛成全員
議案第105号	平成28年度佐野市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定 賛成全員
議案第106号	平成28年度佐野市自家用有償バス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定 賛成全員
議案第107号	平成28年度佐野市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)歳入歳出決算の認定について	認 定 賛成多数
議案第108号	平成28年度佐野市介護保険事業特別会計(介護サービス事業勘定)歳入歳出決算の認定について	認 定 賛成全員
議案第109号	平成28年度佐野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定 賛成多数
議案第110号	平成28年度佐野市佐野田沼インター産業団地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定 賛成全員
議案第111号	平成28年度佐野市西浦・黒袴第二工区産業団地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定 賛成全員
議案第112号	平成28年度佐野市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決 及び認定 賛成全員
議案第113号	平成28年度佐野市病院事業会計決算の認定について	認 定 賛成全員

○賛否がわかれた議案 (平成28年度決算議案)

	議決結果	賛成	反対	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
				慶野常夫	川嶋嘉一	菅原達	木村久雄	横井帝之	早川貴光	小倉健一	金子保利	亀山春夫	小暮博志	本郷淳一	若田部治彦	横田誠	田所良夫	久保貴洋	鈴木靖宏	岡村恵子	鶴見義明	井川克彦	山菅直己	篠原一世	春山敏明	飯田昌弘	高橋功
議案																											
議案第101号	認定 (賛成多数)	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議長	○	○	○	○	○
議案第102号	認定 (賛成多数)	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議長	○	○	○	○	○
議案第107号	認定 (賛成多数)	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議長	○	○	○	○	○
議案第109号	認定 (賛成多数)	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議長	○	○	○	○	○

※○=賛成、×=反対

※井川克彦議長は採決に加わりません。

決算審査特別委員会質疑者一覧

一 般 会 計			
発言順序	氏 名	発言順序	氏 名
1	高 橋 功	8	川 嶋 嘉 一
2	金 子 保 利	9	鶴 見 義 明
3	亀 山 春 夫	10	横 田 誠
4	山 菅 直 己	11	久 保 貴 洋
5	鈴 木 靖 宏	12	木 村 久 雄
6	田 所 良 夫	13	岡 村 恵 子
7	飯 田 昌 弘		



特別会計、水道・病院事業会計			
発言順序	氏 名	発言順序	氏 名
1	飯 田 昌 弘	5	木 村 久 雄
2	金 子 保 利	6	横 田 誠
3	鈴 木 靖 宏	7	岡 村 恵 子
4	鶴 見 義 明		



横田

誠議員(新風)

質問方式
一問一答

子育て環境について

Q 妊娠期から子育て期にわたるさまざまなニーズに対して、総合的相談支援を提供するワンストップ拠点である子育て世代包括支援センターは、少子化社会対策大綱及びまち・ひと・しごと創生総合戦略において、おおむね平成32年度末までに、全国展開を目指す位置づけをされている。子育て世代包括支援センターの本市への設置について、どのような見解を持っているのか伺いたい。

A こども福祉部長

子育て世代包括支援センターの設置については、政府のニッポン一億総活躍プランに基づき、平成32年度末までに全国展開を目指す、取り組みのことになっています。本市も、平成32年度末までの設置を目指して検討を行っています。

平成30年度に関係部局を集め、どのような形の子育て世代包括支援センターを目指すのか、窓口を設置する場所を含めて検討を行い、平成31年度以降、できるだけ早期に開設できるように努めてまいります。

その他の質問

☆今後の市有施設における民間活力の活用について



田所

良夫議員(新風)

質問方式
一問一答

赤見城保育園と石塚保育園と新合保育園の統合について

Q 赤見城保育園、石塚保育園、新合保育園の3園の統合計画は、現状どうなっているのか。

A こども福祉部長

3園のうち新合保育園については、入所児童が減少し、在園児が15人となっている状況から、統合計画に先立ち、今年度末で閉園を検討しています。今後は在園児の保護者ときめ細やかな相談の場を設け、方向性を決定していきたいと考えています。また、石塚保育園と赤見城保育園については、統合保育園を整備するに際し、民間活力を導入し、民設民営により整備を計画していきたいと考えています。統合保育園の整備スケジュールですが、平成32年度に事業者の募集を行い、平成33年度に施設整備及び引き継ぎ保育を行い、平成34年4月の開園を目標としています。

その他の質問

☆新国土形成計画と佐野市の役割について
☆第2次佐野市総合計画について



▲ 新合保育園



飯田

昌弘議員(蒼生会)

質問方式
一問一答

観光立市戦略における「さのまる」の更なる認知度アップについて

Q 昭和61年3月、重要無形文化財保持者(人間国宝)に鉄絵陶器で認定され、同年4月に東京芸術大学名誉教授に推され、客員教授に就任し、佐野市名誉市民に推挙された佐野市の大芸術家、田村耕一先生の生誕100年を記念してどのような企画を考えているのか。また、さのまるとコラボレーションすることで認知度アップにつながると考えるかどうか。

A 産業文化部長

平成30年に田村耕一先生の生誕100年を記念し、先生の68年間にわたる功績をたどり、そのすばらしさに触れる機会の提供を考えています。

企画はこれから検討しますが、人間国宝田村耕一陶芸館で年間を通しての生誕100年企画展や、吉澤記念美術館で国内各地にある代表作の里帰りを中心とした特別企画展、記念講演会、ギャラリートーク、記念図録の作成等を考えています。さのまるとのコラボレーションについては、認知度アップの相乗効果が期待できますので、企画を考えてまいります。

その他の質問

☆中心市街地活性化のための駐車場整備計画について
☆いじめ問題について

は、認知度アップの相乗効果が期待できますので、企画を考えてまいります。



春山 敏明 議員(新風)

質問方式
一問一答都市計画道路
「伊勢山赤坂線」について

Q これまでの一般質問の際に、実態としてお話ししたことだが、東武線踏切(佐野市駅南一番目)から東の都市計画道路は、子どもたちが班単位で登校する雨の日等は大変危険な状況にある。そういったことから、この都市計画道路のうちの通学路の安全確保は、すぐやれる所もあるかと思うが、着工等はいつになるのかを伺いたい。

A 都市建設部長

本線の果たす役割や事業の費用対効果、さらには都市計画上の位置づけについても、改めて分析と検討をする必要あるものと考えています。通学路の安全確保という上では、可能な限りできるものから早期に着手していきたいと考えています。

その他の質問

☆電子告示板及び電子公告板の開設について
☆旧佐野地区における小中学校の通学区域の見直しについて
☆佐野市保育所整備運営計画のうち赤坂保育園整備計画見直し内容について



岡村 恵子 議員(日本共産党議員団)

質問方式
一問一答

国民健康保険について

Q 平成30年度からの国民健康保険の広域化に向け、平成27年、28年度の1人当たり、1世帯当たりの国民健康保険税と第3回保険税試算の比較をした金額について伺いたい。また、基金を使い、最大限下げる努力をすべきだと思うがどうか。

A 健康医療部長

第3回の試算の1人当たりと1世帯当たりの額を比較しますと、その算出条件が異なる部分もありますが、1人当たりの課税額では千円程度、1世帯当たりの課税額では8千円程度の増になっています。

今後も保険税の上昇を抑えることを念頭に、安定した財政運営のために基金を活用し、引き下げる努力をしたいと考えています。

その他の質問

☆中小企業支援と小規模企業振興基本法に基づく取り組みについて
☆高齢者の足確保(移動手段)について



川嶋 嘉一 議員(政友みらい)

質問方式
一括質問
一括答弁

観光立市について

Q 山城サミットは一過性のものとせず、終了後も観光客の増加に結びつけなければならぬと考える。そのことに関して当局の考えを伺いたい。

A 観光部長

このたびの山城サミットは、開催すること自体も重要ですが、山城サミットを開催したことによる効果に最も重点を置いて取り組んでいます。山城サミット終了後の唐沢山の観光客増加については、山城サミットをきっかけに、唐沢山城跡を始めとした価値の高い文化遺産や本市の魅力ある観光素材を知っていただき、本市を訪れた観光客が何度でも訪れたいような観光誘客に努めていきたいと考えています。

その他の質問

☆地域連携について
☆スポーツ立市について



第24回全国山城サミット 佐野大会のチラシ▶

慶野 常夫 議員(政友会)

質問方式
一問一答

佐野市営バス
「さーのって号」の
運行について

Q 高齢社会、人口減少社会に突入した今、地域の生活交通の問題は佐野市にとっても重要な課題である。多くの人が移動をマイカーに依存する現代社会にあつて、今後マイカーを使えなくなる高齢者の移動手段として、佐野市営バス「さーのって号」の運行が必要となつてくると思うが、佐野市南部のバス路線がない吾妻地区、船津川地区の運行計画はあるのか伺いたい。

A 市民生活部長

さーのって号が運行していない吾妻地区や船津川地区は、公共交通空白地域として捉えていますので、その解消に努めていきたいと考えています。本年度策定を予定している地域公共交通網形成計画において、公共交通空白地域解消に向けた基本的な考え方を整理してまいります。

その他の質問

- ☆子どもたちを安心して育てる環境について
- ☆国道50号沿線開発構想について
- ☆住宅用火災警報器の設置率向上について



▲ さーのって号

木村 久雄 議員(公明党議員会)

質問方式
一問一答

環境政策について

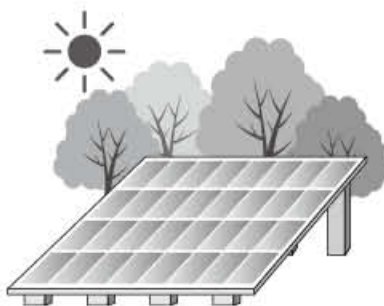
Q 佐野市でも2017年7月、林地開発による太陽光発電設備の整備箇所、土石流の災害があつた。足利市、栃木市では条例に基づく環境保全を求める手続きを定めており、他市も条例等の制定に積極的な姿勢を見せている。林地開発による太陽光発電設備の設置が多い本市も、防災安全対策、環境景観保全等の観点から、条例の制定を前向きに考えるべきだと思うがどうか。

A 市民生活部長

本市においても太陽光発電設備の設置による地域住民からの各種の懸念等について意見が寄せられている状況もあります。今後、国の制度変更の内容、他の自治体での条例の事例などを研究し、前向きに条例等の整備について進めていきたいと考えています。

その他の質問

- ☆観光政策について
- ☆ヤマビル対策について
- ☆犬・猫の避妊・去勢手術について



鈴木 靖宏 議員(蒼生会)

質問方式
一問一答

水害における
防災・減災について

Q 東部6号の上流の地域、特に医師会通りからみのり幼稚園周辺は豪雨時に冠水し、雨水の排水問題が顕著である。根本的な解消を模索する必要があると考えるが、この雨水排水設備の未整備地区の今後の対応と計画について伺いたい。

A 都市建設部長

東部6号雨水幹線は、今後も引き続き下流側から整備を進めますが、その一方で上流の地域で道路冠水被害がたびたび発生していることは十分認識しています。この対策については、雨水幹線の整備だけでは不十分であり、そこに至るまでの排水ネットワークの整備が必要となります。現在、この地域の対策工事の協議を関係機関と進めており、冠水被害を軽減するため、一刻も早い対策工事の実施に向けて取り組みでまいります。

その他の質問

- ☆がん対策と支援について
- ☆火災における防災・減災について



その他の質問

☆生活困窮者対策について



▲ 佐野市市民病院

Q 現在、市民病院は、公設民営として指定管理者制度を導入し、医療法人財団青葉会が運営をしている。地域医療維持交付金という赤字補填をしているが、今後民間病院として経営するには、人口の動向調査、推定患者数などを考慮し、採算性を考えていかなければならない。平成29年度中に民間譲渡の協議を調えるのは非常に困難だと思うが、現在の譲渡交渉の進捗状態はどのようなになっているのか。

A 健康医療部長

現在、優先的交渉相手である医療法人財団青葉会と協議の最中ですので、協議内容を申し上げることはできませんが、今後譲渡条件についての合意が整った場合は、速やかに報告します。

質問方式
一問一答

鶴見 義明 議員(日本共産党議員団)

市民病院について

質問方式
一問一答

早川 貴光 議員

佐野市の広報戦略について

Q 若年層を始めとした多くの市民の方は、情報が更新された時、スマートフォンに音声や文字によってお知らせするプッシュ型の通知アプリケーションを利用している。また、平成28年度の市政に関するアンケート調査では、家庭でのインターネット利用について、最も多かった回答はスマートフォンで41.7%の方が利用している。このことから、佐野市もスマホアプリを早急に導入するべきと考えるが、見解を伺いたい。

A 総合政策部長

利用者へお知らせが届く通知型アプリを用いたスマートフォン活用の活用についてはとても有効であると思います。また、多くの自治体で導入しているアプリもありますので、新たな情報周知手段として早急に導入したいと考えています。

質問方式
一問一答

金子 保利 議員

市職員の勤務規定について

Q 業務による精神障害の発症は、時間外勤務時間が短くとも十分に起こり得ると考えられている。職場において、様々な原因が重なり合い、悲惨な結果を招くことがあるが、職場でいち早くそのような現象を捉えて、未然に防止する職場環境にすることが肝要であるとされているが、市職員のメンタルヘルス事業はどのように行っているのか。

A 行政経営部長

毎月2回臨床心理士によるストレス相談を設け、相談を受けやすい環境づくりに配慮した取り組みを行い、職員に案内しています。また、パワハラやメンタル不全を防止する方策を中心とした研修も行っています。平成28年度からはストレスチェックを実施し、自身のストレス状況を知ってセルフケアに努められるよう、職員のメンタル不調の未然防止を図っています。他にもさまざまな対策を講じ、働きやすい職場環境づくりに努めます。



▲ ストレスチェックシート

高橋

功議員(蒼生会)

質問方式
一問一答葛生地区小中一貫校
について

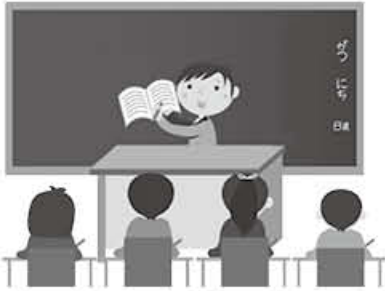
Q 葛生地区小中一貫校は計画どおりに進めていくのか。また、学習面では9年間一貫した方針のもと、発達の段階に応じた6・3制を原則としながら、運営面では4・3・2制を取り入れるというが、考え方を伺いたい。

A 教育総務部長

佐野市立小中学校適正規模・適正配置基本計画の計画どおりに、平成34年4月の開校を目指して進めていきます。また、4・3・2制について、東北大学の脳科学者・川島隆太教授より、10歳の壁、中1ギャップという中1プロブレムに対応するには2年ぐらい早めた制度を用いながら指導するのが有効という研究報告があることや、全国の先進校でも9割以上が導入していることもあり、運営面ではこの制度を導入していきたいと考えています。

その他の質問

☆鳥獣被害対策について



小倉

健一議員

質問方式
一問一答佐野インランドポート開港・
出流原PA周辺総合物流
開発整備事業関連について

Q 出流原PA周辺総合物流開発整備事業に関する基本構想書の課題である地域住民及び地権者等への周知について、開発構想予定区域の住民や地権者への細かな説明、意見を酌む説明会等の開催が必要と考えるが、今後の徹底された周知に向けての取り組みや計画を伺いたい。

A 総合政策部長

事業を円滑に進めるには、地域住民や地権者等のご理解、ご協力が不可欠であると考えています。今後、事業の進捗や段階に合わせて説明会等を開催していきますが、広く住民等に周知するためにも関係町会と連携し、説明対象者の拡大を検討していきたいと考えています。

その他の質問

☆高齢者の見守りと
児童生徒の安全について



▲ インランドポート(管理棟)

久保

貴洋議員(蒼生会)

質問方式
一問一答

スポーツ立市について



Q 今後、さのマラソン大会を公認大会、公認コースとする考えはあるか。

A 観光スポーツ部長

マラソン大会を公認大会化するためには、交通規制に係る地元住民、企業、商店等の理解や協力、交通規制に伴う警察との協議、県陸上競技協会との調整、大会運営費の確保等が必要となります。また、公認大会取得までのスケジュールについては、検討会で検討した結果、資料作成や計測等の手続きで約2年間必要であると考えています。公認大会となれば、大勢のランナーの参加が見込まれ、経済効果もあり、本市のイメージアップにも繋がっていくと考えていますので、公認大会として実施できるように、今後取り組んでいきたいと考えています。

その他の質問

☆あそ野学園義務教育学校について



▲ 第13回さのマラソン大会のパンフレット



横井 帝之議員(新風)

質問方式
一問一答

体育館の床板の剥離
による負傷事故の
防止について

Q 文部科学省より、体育館の床板の剥離による負傷事故の防止についての通知が出されている。スポーツ立市を掲げる本市において、全ての体育館利用者に安心して安全にスポーツを楽しんでほしいと願うが、体育館の長期的な改修計画を伺いたい。

教育総務部長

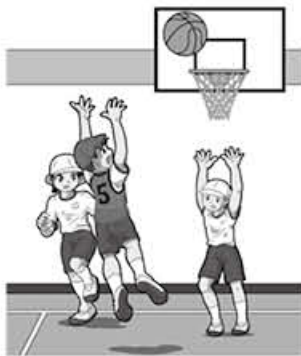
A 現在、本市の小中学校の体育館は35校のうち31校が建築から30年以上が経過しており、今後一斉に大規模改修などの老朽化対策が必要な時期を迎えます。

今後限られた財源の中で集中的な更新時期を考慮し、財政負担の平準化を図りながら、改修計画を検討していかねばならないと考えています。また、市の体育館も老朽化に対する修繕を計画的に施しながら、適切な施設の管理運営に努めていきたいと考えています。

その他の質問

☆「住みよさランキンク」について

☆「佐野市保育所整備運営計画」について



亀山 春夫議員(政友みらい)

質問方式
一問一答

全国山城サミット
佐野大会について

Q 山城サミットについて、市民への広報活動はどのようにするのか、また、市民の期待はどうか。

市長

A 山城サミットは、市民の皆様と一丸となつて盛り上げていくことを第一に考えています。そこで、メイン会場となる唐沢山城跡のPRだけでなく、市内全域に広がる14カ所の出城や城館跡の存在価値をのぼり旗や出城マップの配布等によりPRを行います。地域の皆様には、それぞれの地域に残る文化遺産のすばらしさを地域の誇りとして将来まで語り継いでいただけたらと考えています。

また、サミットに合わせた市民の皆様による清掃活動や山城サミットを冠した催し物を行っていただいております。皆様の関心の高まりを強く感じています。山城サミットに伴う取り組みの一つ一つが地域の活性化に繋がるよう、事業を進めていきたいと考えています。

その他の質問

☆林道作原沢入線の
開通について



▲ 第24回全国山城サミット佐野大会のぼり



菅原 達議員(公明党議員会)

質問方式
一問一答

介護予防・日常生活
支援総合事業について

Q 住民主体のサービスの提供における介護ボランティアポイント制度導入について、ボランティアに対する謝礼の支給は必須であると言え、ボランティアの方に支払われる謝礼の一部を介護ボランティアポイントとして還元することで、サービス利用者の自己負担軽減に繋がります。担い手も利用者も共に満足いくものになると考えます。本サービスにおいて介護ボランティアポイント制度を導入すべきと考えます。

健康医療部長

A 住民主体の生活支援における担い手の育成や住民の社会参加への動機づけなどのために、介護支援ボランティアポイント制度は有効であると考えています。本市においても、介護支援ボランティアポイント制度の導入を検討していきたいと考えています。

その他の質問

☆介護事業の「質」を
高める取り組みに
ついて

☆認知症対策の充実
について



平成29年第4回市議会定例会 審議された議案等と結果

9月定例会は9月1日(金)から22日(金)までの22日間の日程で行われました。審議された議案等とその結果は次のとおりです。

議案番号等	件 名 (内 容)	議決結果等
報告第 7号	公益財団法人佐野市農業公社の経営状況を説明する書類の提出について	報 告 —
報告第 8号	株式会社どまんなかたぬまの経営状況を説明する書類の提出について	報 告 —
報告第 9号	継続費精算報告書の提出について	報 告 —
報告第 10号	平成28年度健全化判断比率及び資金不足比率について	報 告 —
報告第 11号	市長の専決処分事項報告について(損害賠償の額の決定及び和解)	報 告 —
報告第 12号	市長の専決処分事項報告について(損害賠償の額の決定及び和解)	報 告 —
報告第 13号	市長の専決処分事項報告について(損害賠償の額の決定及び和解)	報 告 —
報告第 14号	市長の専決処分事項報告について(損害賠償の額の決定及び和解)	報 告 —
議案第 93号	佐野市税条例の改正について(地方税法等の改正に伴い、所要の規定を整備するための改正)	原案可決 賛成全員
議案第 94号	佐野市都市計画税条例の改正について(地方税法等の改正に伴い、所要の規定を整備するための改正)	原案可決 賛成全員
議案第 95号	佐野市道路占用料徴収条例の改正について(道路占用料の額を改めるための改正)	原案可決 賛成全員
議案第 96号	佐野市公共物管理条例の改正について(公共物の使用料の額を改めるための改正)	原案可決 賛成全員
議案第 97号	佐野市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の改正について(佐野岩崎産業団地地区整備計画区域における建築物に関する制限を改めるための改正)	原案可決 賛成全員
議案第 98号	土地の処分について(佐野インター産業団地(第2期)の市有地の売払い)	原案可決 賛成全員
議案第 99号	字の廃止並びに町及び字の区域の変更について(足利佐野都市計画事業西浦・黒袴土地区画整理事業の施行に伴う字の廃止並びに町及び字の区域の変更)	原案可決 賛成全員
議案第 100号	市道路線の認定について(2路線の市道認定)	原案可決 賛成全員
議案第 114号	平成29年度佐野市一般会計補正予算(第3号)(歳入歳出予算の総額にそれぞれ1,596,210千円を追加、債務負担行為の補正、地方債の補正)	原案可決 賛成全員
議案第 115号	平成29年度佐野市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)(歳入歳出予算の総額にそれぞれ691,781千円を追加、債務負担行為の補正)	原案可決 賛成多数
議案第 116号	平成29年度佐野市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)(歳入予算の補正(歳入総額の増減なし))	原案可決 賛成全員
議案第 117号	平成29年度佐野市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)(歳入予算の補正(歳入総額の増減なし))	原案可決 賛成全員
議案第 118号	平成29年度佐野市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)補正予算(第1号)(歳入歳出予算の総額にそれぞれ416,791千円を追加)	原案可決 賛成全員

議案番号等	件 名 (内 容)	議決結果等	
議案第 119号	平成29年度佐野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)(歳入歳出予算の総額にそれぞれ550千円を追加)	原案可決	賛成全員
議案第 120号	平成29年度佐野市西浦・黒袴第二工区産業団地造成事業特別会計補正予算(第1号)(歳入歳出予算の総額にそれぞれ1,121千円を追加)	原案可決	賛成全員
議案第 121号	平成29年度佐野市病院事業会計補正予算(第1号)(収益的収入及び支出の予定額にそれぞれ36,876千円を追加)	原案可決	賛成全員
議案第 122号	佐野市国際クリケット場整備工事請負契約について(佐野市国際クリケット場整備工事)	原案可決	賛成全員
意見書案第1号	道路整備に係る補助率等の ^{かさあ} 嵩上げ措置の継続を求める意見書について(詳細は13ページに記載)	原案可決	賛成多数

賛否がわかれた議案等

	議決結果	賛成	反対	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
				慶野常夫	川嶋嘉一	菅原達雄	木村久雄	横井帝之	早川貴光	小倉健一	金子保利	亀山春夫	小暮博志	本郷淳一	若田部治彦	横田誠	田所良夫	久保貴洋	鈴木靖宏	岡村恵子	鶴見義明	井川克彦	山菅直己	篠原一明	春山敏弘	飯田昌功	高橋功
議案第115号	原案可決(賛成多数)	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議長	○	○	○	○	○
意見書案第1号	原案可決(賛成多数)	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議長	○	○	○	○	○

※○＝賛成、×＝反対

※井川克彦議長は採決に加わりません。

12月定例会日程(案)

平成29年第5回定例会の日程は、11月24日(金)の議会運営委員会で内定し、12月1日の本会議で決定します。※日程は変更になることがあります。

11/20日(月)	21日(火)	22日(水)	23日(祝)	24日(金)	25日(土)	26日(日)
		請願及び陳情提出 期限(17:00)		10:00 議会運営委員会		
27日(月)	28日(火)	29日(水)	30日(木)	12 / 1日(金)	2日(土)	3日(日)
				10:00 本会議 (議案説明)	休会	休会
4日(月)	5日(火)	6日(水)	7日(木)	8日(金)	9日(土)	10日(日)
休会	10:00 本会議 (議案質疑、討論、 表決)	10:00 本会議 (一般質問)	10:00 本会議 (一般質問)	10:00 本会議 (一般質問)	休会	休会
11日(月)	12日(火)	13日(水)	14日(木)	15日(金)	16日(土)	17日(日)
9:00 建設常任委員会 13:30 厚生常任委員会	9:00 経済文教常任委員会 13:30 総務常任委員会	休会	休会	10:00 本会議 (委員長報告、質疑、 討論、表決)		

意見書案の審査結果

意見書案第1号

道路整備に係る補助率等の^{かさあ}嵩上げ措置の継続を求める意見書について

9月定例会において、(提出者)田所良夫議員、(賛成者)亀山春夫議員、飯田昌弘議員、菅原達議員、早川貴光議員により道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書(案)が提出され、賛成多数により可決されました。意見書は、佐野市議会として内閣総理大臣、財務大臣、国土交通大臣、衆議院議長、参議院議長に提出しました。

道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書

道路は、国民の安全な暮らしや経済・社会活動を支えるとともに、災害時には地域住民の命を守るライフラインとして機能するなど、国民生活になくてはならない重要な社会基盤であります。

現在、道路事業においては、道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律(以下「道路特財法」といいます。)の規定により、地域高規格道路や交付金事業が嵩上げされておりますが、この措置は、平成29年度までの時限措置となっています。

本市においては、平成27年に完成した新庁舎を拠点としたまちづくりを推進するとともに、生活に密着した道路等の整備により、安心・安全な快適環境の形成と都市環境の整備を図ることが急務となっています。

さらに、今後老朽化する橋梁等の道路インフラが急速に増大していくことから、道路管理者の責務として、定期点検や補修・修繕工事の実施等、本格的な老朽化対策に取り組むことが必要不可欠となっています。

また、地方創生に全力を挙げて取り組んでいるこの状況下、補助率等が低減することは、地方の努力に水を差すものであるとともに、着工中の事業継続も困難となり、魅力あるまちづくりの実現に必要な道路整備の推進に、大きな影響が及ぶこととなります。

よって、国においては、道路特財法の補助率等の嵩上げ措置について、平成30年度以降も継続いただけるよう強く要望いたします。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成29年9月22日

佐野市議会



意見書とは、地方自治法第99条の規定に基づき、地方公共団体の公益に関することについて議会の意思を意見としてまとめた文書です。

議会は、その意見書を国会または関係行政庁に提出することができます。

開会日
2017 8.8
平成 29 年

佐野市 こども議会



佐野市こども議会を 開催しました

8月8日、市内の中学校・中等教育学校(11校)の代表者1名がこども議会議員となり、議場において、市議会と同様の形式で佐野市に対する一般質問を行いました。また、こども議会議員の中から、議長役3名を選出し、交代で議事を進行了ました。

質問と答弁の一部を要約して、質問順に紹介します。



運動施設について



田沼西中学校 3年
小堀 貴司 議員

Q 今後、佐野市では運動施設の建設や施設の器具の修繕計画はありますか。

A 現在は優先的に国際クリケット場とラグビーフットボール場の整備を進めています。それ以外のスポーツ施設は、壊れた部分の修理を計画的に行いながら、気持ち良く使ってもらえるように環境の整備をしています。

イオン、佐野プレミアムアウトレット周辺の交通渋滞について



田沼東中学校 3年
寺岡 一樹 議員

Q イオン、佐野プレミアムアウトレット周辺は交通渋滞が発生しますが、佐野市としての改善策を教えてください。

A 平成28年から、佐野市と栃木県の協力体制で、工業団地西交差点から国道50号へ向かう車線を2車線に広げています。今は、道路の設計中ですので、工事は少し先ですが、道路が一日も早く完成するようにしたいと思っています。

健康・体力の向上のための 環境整備について



北中学校 3年
安藤 大輝 議員

Q バレーボール部やバスケットボール部が体育館を使用した時にフロアーの板がお腹やお尻に突き刺さる事故が起きています。体育館の環境整備について市の考えをお聞かせください。

A 現在、体育館を安全で安心して利用できるよう、事故防止も考えた補修・修繕を行っています。また、今後は根本的な修理などを検討していきます。

佐野市のバリアフリー政策について



西中学校 3年
川俣 実夢 議員

Q 佐野市のバリアフリーに関する政策についてとその予算はいくらなのか、また、それは市の予算全体の何%なのか教えてください。

A 佐野市は、建物や道路等の段差の解消や、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた文書づくり、情報のバリアフリー化にも取り組んでいます。予算は6億5,826万2千円で、予算全体の1.4%です。



葛生中学校 3年
川上 菜々歩 議員

さのまるの経済効果について

Q 全国ゆるキャラグランプリで優勝したこともあるさのまるですが、さのまるグッズや、さのまるを用いたビジネスの経済効果はどのくらいなのか、教えてください。

A 平成26年度に実施した調査によりますと、さのまるが誕生した平成23年2月から平成26年10月までの3年9か月間で、佐野市にもたらした経済波及効果は約592億円です。



城東中学校 3年
大畑 暁美 議員

天明鑄物の継承について

Q 多くの伝統文化において、継承者がいないとテレビや新聞などで見るがあります。天明鑄物の伝統を保護するための佐野市の政策はありますか。

A 日本の伝統文化の多くが後継者不足に頭を痛めていて、天明鑄物も例外ではありません。そのため佐野市では、「佐野市天明鑄物のまちづくり推進計画」を平成28年に定めています。



佐野日本大学中等教育学校 3年
亀田 英太郎 議員

いじめが起った時の

解決の仕方について

Q いじめがエスカレートするのはそれを見ている児童生徒がいじめを見逃し、黙認するような空気によるもの大きいと思います。この傍観者への指導を行うようにお願いできますか。

A 傍観者には自分の問題として捉えさせる指導が必要です。普段の学校生活のあらゆる場面で「傍観者にはならない」指導の徹底を図っていきます。



赤見中学校 3年
荒川 千裕 議員

地元の特徴を生かした

産業について

Q 佐野市をより活性化させていくために、さのまるを活用した佐野市独自のブランドや特色を生かした産業の立ち上げなどの政策はありますか。

A さのまるに限定したものではありませんが、市民の方たちが主体となって、佐野市の新しい特産品を見つけ出していこうという取り組みが始まったところ です。



佐野高等学校附属中学校 3年
齊藤 純香 議員

佐野市のゴミについて

Q 今現在、または過去に実行している、ゴミ収集場所の対策とこれまでの対策を踏まえて、何か違う対策を行う予定はあるのかお聞きします。

A 各町会では、ごみを収納するボックスを設置したり、ネットやシートをごみに被せたりして、対策をしています。今後は、佐野市の実態を十分に把握し、有効な対策について研究していきます。



常盤中学校 3年
関塚 萌恵 議員

佐野市の防災に関する取組について

Q 自然災害に対して、佐野市全体としてどのような対策や訓練が行われていますか。

A 佐野市の対策としては、市民に危険がせまっているときは、災害対策本部を設置し、災害情報の収集や現場の監視を行います。訓練としては、市職員を対象に連絡体制や役割の確認訓練、被害状況の把握避難所の開設などを行う訓練等を行っています。



南中学校 3年
伊和野 風砂 議員

※1 ムスリムの方との

交流の周知の仕方について

Q ムスリムがより訪れやすい街づくりについてと、市民へのムスリムイベント情報の周知の仕方についてどう考えていますか。

A ムスリムの方々を受け入れるための食材等の表示や、市民の皆様理解を促すための講習会の開催、広報さの、市ホームページや※2 SNSを使った情報提供に力を入れ、佐野市全体で後押ししていきます。



第2回 議会報告会

お気軽に
お越し
ください!!



開催日時

及び会場

無料

日時 11月16日(木)

午後7時～9時

会場 田沼中央公民館 2階 視聴覚室

日時 11月17日(金)

午後7時～9時

会場 佐野市中央公民館 3階 ホール

日時 11月18日(土)

午後1時30分～3時30分

会場 葛生地区公民館 2階 ホール

内容(3会場同一)

1. 平成29年6月・9月定例会の報告
2. 意見交換
 - ①人口減少対策について
 - ②自由討議



9月10日に開催された第13回佐野市民体育祭で市議会議員チームが団体対抗リレー(公開種目)に参加しました。第1組目に出場し、見事1着でゴールしました。

あとがき

9月定例会では、平成28年度一般会計、各特別会計、水道事業会計及び病院事業会計決算を審査するため決算審査特別委員会を設置し、活発かつ熱心に質疑が行われました。

また、11月には、第2回議会報告会を田沼中央公民館、佐野市中央公民館、葛生地区公民館の三会場で開催いたしますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

これから寒さが一段と増してまいりますので、くれぐれもご自愛ください。

(木村久雄)

編集委員会

委員長 小暮博志
委員 久保貴洋
委員 木村久雄
委員 川嶋嘉一
委員 田所良夫

議会事務局

TEL 20-3036
FAX 21-4411